

|    |                  |     |        |
|----|------------------|-----|--------|
| 教科 | 科 目              | 単位数 | 学年・クラス |
| 共創 | せんたんコミュニケーション学 I | 1   | 2 学年   |

### 1 使用教材

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 使用教科書 | 「伝わるプレゼンの法則 100」「佐田岬民俗ノート 2」 |
| 出版社   | 大和書房、佐田岬半島ミュージアム             |
| 副教材等  | -                            |
| 出版社   | -                            |

### 2 学習の目標

|   |   |
|---|---|
| 1 | 自分の言葉で相手にわかりやすく伝える力や情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用する技能を養う。     |
| 2 | 相手がほしい情報を予測し、わかりやすく伝える力（プレゼン力・表現力）を養う。                |
| 3 | 自分の住む地域の課題に対する理解を深め、その地域の特徴を他者にわかりやすく伝える活動を通して郷土愛を養う。 |

### 3 評価の観点・方法

| 評価の観点           | 内 容  |
|-----------------|--|
| ① 知識・技能         | 学習内容を自分ごととして捉え、探究活動に意欲的に取り組むことができる。                                    |
| ② 思考・判断・表現      | 必要な情報を適切に収集・分析することで、自分の考えをまとめた上で表現することができるとともに、他者と協働しながら探究活動を行うことができる。 |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | 学習した内容を踏まえ、課題の解決やより良い集団作りのために自分にできることを理解し、実践することができる。                  |

| 評価方法    | 観点別重要度 |   |   | 主な評価項目    |
|---------|--------|---|---|-----------|
|         | ①      | ② | ③ |           |
| 授業への取組  | A      | A | B | 授業態度など    |
| 提出物・作品  | A      | A | C | 指示した時期に提出 |
| 発表・プレゼン | C      | B | A | 内容ごとに実施   |

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

#### 4 学習計画

| 学期      | 学 習 内 容   | 学習のねらい  |
|---------|---|---|
| 1<br>学期 | <p>プログラミング基礎<br/>「みさこうお仕事図鑑」<br/>制作基礎</p>                 | <p>プログラミングの基本的な文法や構造を理解し、簡単なプログラムを自分で作成できる力を養う。<br/>問題を論理的に分析し、段階的に処理を組み立てて解決する力（アルゴリズム的思考）を育てる。<br/>エラーやバグに対応しながら、試行錯誤を通してプログラムを改善する姿勢を身につける。</p> <p>さまざまな職業や仕事の内容について理解し、それぞれの役割や魅力を知る。職業の種類や仕事内容を学び、社会における多様な職業の意義や重要性を理解する。<br/>自分の興味や適性に合った職業を見つける手がかりを得る。自分の興味、能力、価値観に基づいて将来の職業選択の参考になる情報を収集する。</p> |
| 2<br>学期 | <p>「みさこうお仕事図鑑」制作</p> <p>『今を創る、未来を変えるトライブ』</p>             | <p>相手の話をよく聞き、必要な情報を正確に引き出すコミュニケーション力を高める。質問だけでなく、相手の発言をよく聴き、適切なタイミングで追求することで、対話力を向上させる。<br/>インタビューの内容を整理・記録し、後で他者にわかりやすく伝える力を育てる。</p> <p>話し合いを通して意見を調整し、よりよい企画を作り上げていく協働的な学びを促す。<br/>問題が生じたときには自ら考え、仲間とともに解決しようとする態度を育てる。</p>   |
| 3<br>学期 | <p>「みさこうお仕事図鑑」制作・広報<br/>「ウェブデザインと広告・広報」</p> <p>学習のまとめ</p> | <p>職業の多様性を理解し、各職業の仕事内容や意義を正確に伝える力を育てる。さまざまな職業についてリサーチし、その情報を正確にまとめることで、職業の理解を深め、広報活動に活かす。</p> <p>自己評価や相互評価を適切に行い、自らを客観的に振り返る機会とする。</p>  |